

栄養茨城 FLASH No.19

発行日/令和3年3月16日

発行所/公益社団法人 茨城県栄養士会

〒310-0034 水戸市緑町3-5-35

TEL 029-228-1089 FAX 029-228-4271

http://www.ibarakiken-eiyoushikai.or.jp/

CONTENTS

会長あいさつ・予防めし	P1
受賞おめでとう	P2
つくば市介護予防日常支援総合事業	P3
各専門研究会員の職場紹介	P4-5
研修会報告・オンライン研修の導入について	P6
ヘルシーメニューレシピ紹介	P7
茨城県栄養士連盟会長あいさつ・入会のすすめ	P8



2021年

新年をむかえて

公益社団法人茨城県栄養士会会長

入江 三弥子

コロナ禍の影響が続く中、新しい生活ルール対応に皆様奮闘しておられることと思います。昨年は新聞に『コロナ

対策の食事と栄養』を寄稿し、HPに栄養バランスの良い食事を掲載しました。研修会の半数は中止となり、実施した研修会は、県内の栄養士・管理栄養士養成校等の先生方に講師をお願いし、ウェブ配信しました。今後も書面会議やリモート会議が増えて、コロナが収束後も続くでしょう。

さて、会員の為の事業だけではなく、他医療職種や他団体と連携を深め情報の共有や連携事業への参

加が求められております。多様化する課題に対応する『やる気』を問われているようです。

35年振りに会費の値上げが総会において承認され、令和3年度から実施します。この検討の過程で、会存続に努力してこられた諸先輩方のご苦勞と情熱にふれ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

退職したら次は『人材登録』をして得意を活かした仕事や地域貢献に勤しむのはどうでしょうか。食の技術伝承の担手育成など期待されている課題はまだ沢山あります。仲間と一緒に充実した人生となるように歩んでいきましょう。退職後も活躍できる体制を考えたいと思います。

春野菜で予防めし 自然免疫を上げよう↑↑ 予防めしってなんだろう？

日本栄養士会では、「予防めし」とは「免疫機能を低下させないで感染症の予防に役立つ食事」と定義しています。免疫は細胞の働きの一つ。細胞を元気にするために、栄養バランスのとれた食事が大切です。しかし皆様には「釈迦に説法」と思われます。そこで、バランスもとれ時短になるメニューをご紹介します。

〈鶏肉とパプリカの菜の花蒸し〉

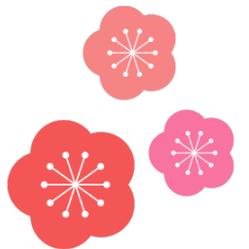
材料2人前 鶏胸肉 200g 菜の花 160g パプリカ 40g 塩 2g 水大匙3 ①鶏肉はそぎ切りにし、塩をもみこむ。②野菜は食べやすい大きさに切る。③鶏肉に片栗粉をまぶす。④温めたフライパンに油

を入れ③を並べる。⑤野菜を上のにせ、水大匙3を入れて中火で7~8分蒸す。 1人前 222kcal 蛋白質 25g 鉄 2.7g 塩分 1.1g バターや、ゴマ油で風味付けも可。野菜と肉は同量が目安です。菜の花のほろ苦さで春を感じられるレシピです。

(写真 人参ご飯 切干しのポン酢和え ドライマンゴーヨーグルト和え 清汁) (文責 伊藤 久美子)



受賞おめでとう



永年の栄養士活動が認められ、令和二年度表彰された方々をお知らせします。
(敬称略)

栄養関係功労者
厚生労働大臣表彰受賞者

稲葉 和枝



茨城県知事感謝状受賞者

・第九回定時総会

地域活動(潮来市)

杉山 美智子



医療法人 たかぎ歯科

手塚 文江



・県民健康づくり表彰式

茨城県立中央病院

前田 昭子



茨城県保健福祉部長感謝状受賞者

・第九回定時総会

学校健康教育(東海村)

高槌 初子

水戸市立千波小学校

大内 靖子

地域活動(かすみがうら市)

佐久間 美津江

介護老人施設つまさと

長田 和枝

社会福祉法人勇成会障害者支援施設

ユーカリの里

伊藤 友子

・県民健康づくり表彰式

地域活動(石岡市)

山田 とし子

医療法人儘誠会宮本病院

高城 文子

学校健康教育(常陸太田市)

會澤 千恵子

地域活動(石岡市)

駒村 富美恵

茨城県立坂東総合高等学校

三宅 久美子



県民健康づくり推進事業功労者表彰

知事賞 前田 昭子 さん(右)

保健福祉部長賞 三宅 久美子さん(左)

医療・介護施設向け食品の開発・販売

在宅患者向け通信販売



ヘルシーフード株式会社

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3

TEL 042-581-1191

<http://www.healthy-food.co.jp/>



人も地球も健康に
Yakult

乳酸菌 シロタ株
400億個のチカラ

80ml 乳酸菌(乳酸菌飲料) 80ml ※ヤクルトレディがお届けしています。

水戸ヤクルト販売(株) 〒311-4164 水戸市谷津町1-35 TEL.029(251)8960

古河ヤクルト販売(株) 〒306-0015 古河市南町1-62 TEL.0280(311)8960

千葉県ヤクルト販売(株) 〒264-0017 千葉市若葉区加曾利町63 TEL.043(311)8960

いわきヤクルト販売(株) 〒971-8122 いわき市小名浜林城字向田2-1 TEL.0246(58)8960

ヤクルトお客様相談センター ☎0120-11-8960 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

つくば市介護予防 日常生活支援総合事業

事業説明

つくば市から「地域リハビリテーション支援事業」「訪問型短期集中予防サービス」「食生活改善事業」の三事業を受託しています。三事業の共通点は、高齢者のフレイル予防です。「地域リハビリテーション支援事業」「訪問型短期集中予防サービス」は、事業所や利用者の居宅において、理学療法士・歯科衛生士等の多職種と連携して、多面的な支援を行い、「食生活改善事業」では、約3か月の期間を設けて、栄養指導から運動指導まで実施しました。これから益々、需要が高まると予想されます。会員の皆様にご協力をいただきながら、継続していきたいと思っております。この事業に興味がある方は是非、人材登録して頂き、一緒に活動していただくことを願っております。



(文責 宮本 未奈子)

訪問型短期集中予防サービス

この事業は、つくば市地域包括支援課から茨城県栄養士会に委託され、高齢者の介護予防の取組を総合的に支援するものです。

私はクリニックに勤務をしていますが、業務の中で高齢患者様との関わりや厚生労働省の地域包括ケアシステムの指針などから訪問栄養指導の必要性を感じたことから、「茨城県栄養士活動人材登録」を行い、栄養士会からの依頼で令和2年10月から訪問支援を開始しました。

担当した対象者の一人は、病院から在宅に移行の時期で嚥下障害がある方でした。保健師・介護支援専門員と共に居宅訪問し、食生活状況の把握や、奥様と御本人の食事に関する要望等の聞き取りを行い、栄養アセスメント・指導を行いました。事前に介護支援専門員から対象者の情報や他職種の支援状況を頂いていたので、栄養指導に生かすことが出来ました。(文責 根岸 美幸)

つくば市食生活改善指導事業

本事業はつくば市から栄養士会に委託され、高齢者の低栄養を防止し健康寿命の延伸を図ることを目的として、昨年度に引き続き実施しました。後期高齢者健診にてBMI 21.5以下、かつ医療機関等で栄養指導を受けていない方が対象で、希望者25名が参加されました。コロナ対策に万全を期し、令和2年9月11日に初回集団指導を開催し、低栄養予防の講話、電子レンジ料理の紹介、運動講話、演習、食事記録表確認等を行いました。3回の個人指導では健診データと食生活情報を元に行動目標を設定し、取り組み方法を検討しました。しかしながら3回目は移動自粛のため急遽栄養士会事務局からの電話対応となりました。12月18日の最終集団指導では再度食事記録表の確認、運動指導を実施しました。指導前後の栄養素摂取量、行動変容、体重・握力の変化

により事業評価を行いました。

参加者は、脂肪や糖분을控えるなど健康に気を配ってこられた方が多く見受けられました。身体状況や食習慣を的確に把握し、改善計画を提案すると、「筋肉を増やしたい」「姿勢を良くしたい」などの目標が挙げられ、積極的に取り組もうとする意欲が感じられました。食事改善や運動の実践により体調が良くなったとの声を多く耳にし、私達栄養士にとっても大変やりがいのある事業でありました。

(文責 染谷 まゆみ)



私たちの職場紹介

病院編 JAとりで総合医療センター栄養部 管理栄養士 塩田 かおり

当院は感染病棟を有する総合病院です。昨年2月よりコロナ患者さんの食事はディスポ食器で対応しています。3月末の院内感染以前の入院患者さんは比較的軽症で食種は常食で主食はごはん、ディスポ食器（ご飯と、副菜が3品入る弁当箱）と紙パックの緑茶、割り箸で対応していました。しかし院内感染が疑われた時点からはひとつの病棟の患者全員がディスポ対応になったため、全食種・主食・食形態全てがディスポ対象になりました。そのため、食器は弁当箱のみでは対応できず、おかゆ用のカップやスプーンも必要になりました。政府の緊急事態宣言

で、飲食店でのテイクアウトの影響なのかディスポ食器の納品が遅れることもあり、ディスポ類のストックの必要性を感じました。また、面会禁止により食事の個人対応が増えています。厚生労働省の診療の手引きや日本栄養士会の給食管理業務および臨床栄養業務における対応事例を参考に普通食器を提案しましたが、看護部はディスポ食器使用が希望のため、現在もディスポ食器です。栄養指導は指導室の消毒や換気を行い、管理栄養士はアイガードとサージカルマスクで実施しています。患者会を対象にした調理実習は現在も中止していますが、日本栄養士会からの情報発信はとても参考になりました。

学校編 水戸市立梅ヶ丘小学校 栄養教諭 竹林 麻衣

現在の学校給食は、コロナ対策で少し前とは全く違った環境となりました。学校では、コロナ禍以前より学校給食衛生管理基準に従い、調理室はもとより各教室においても衛生管理を実施していました。例えば、配膳に関わる給食当番と教職員は、朝の健康観察とは別に給食開始前に健康チェックを実施し記録します。現在は、教室の換気、各所のアルコール消毒も実施し、手洗い・消毒を徹底し、間隔をあけて給食を取りに並びます。喫食時は、皆が黒板の方向を向いて会話をせず食べる、前向き給食です。

育ちを支える機能があります。また、給食時の食指導においても会話のキャッチボールは出来ず、はじめはこの現状に戸惑うばかりでした。しかし実際は、静かな環境での食指導はしっかりと耳に届くようで、食べている様子を見ても、それぞれ自分自身の食事に向き合い時間をかけて食べることができるため、食器を持って食べようと気をつけたり、食べ残しのないよう箸を上手に使うようになったり、以前よりもマナー良く、そしてよく噛んで味わいながら食べる子が多くなったように思います。

今後も、ウィズコロナ時代の食育のあり方を検討しつつコロナの終息を願いながら、安全安心な給食提供に努めていきたいです。

勤労者支援編 日本無機株式会社結城工場 管理栄養士 林 道子

日本無機は半導体・製薬・食品工場などの空調設備に使用されるフィルタ製品やクリーンルーム機器のメーカーです。このコロナ禍ではウイルス感染対策製品の開発・販売を通して社会貢献にも寄与しています。当社の結城工場社員食堂は2014年に工場操業50周年記念事業の一環としてリニューアルし、日々、工場で働く従業員に約180食/日を提供する直営の事業所給食施設です。2020年度には「いばらきハッピー」の認証を取得し、運用しています。企業にとって従業員の健康は最大の管理事項です。食の充実は生産性向上だけでなく、従業員にとって「働きやすさ」の向上にも

つながります。感染拡大に伴い「三密」を避けることが必須となっている社員食堂においては、テレワーク化が難しい工場で働く従業員に安全・安心で豊かな食環境を提供するために、感染拡大防止対策と衛生管理に最大限配慮した取り組みをより一層強化しているところです。

企業と従業員が一体となって職場内外での感染防止行動の啓発に積極的に取り組みながら感染拡大防止へ向けた一人一人の行動変容を心がけています。



研究教育

茨城キリスト教大学 副学長

・公衆衛生編

生活科学部食物健康栄養学科

教授 梶田 泰孝

リニューアルされた大甕駅の西口目が茨城キリスト教学園です。創立は1967年。認定こども園、中学・高等学校、大学・大学院が設置されています。スクールモットーであるPeace Truth LOVEを礎に教育が実践されています。

【学科における活動と管理栄養士教育の在り方】

生活科学部食物健康科学科は学年80名定員です。所属専任教員は17名、各々が持つ教育・研究領域の専門として、管理栄養士の養成に携わっています。所属する学科学生や教員の活動は活発であり、水戸市教育委員会との連携事業である食育サポーターへの参加などの様々な学生の活動、市町村との連携事業が行われています。また専門性の高い学修を希望

福祉編

特別養護老人ホーム 成華園

栄養課主任 益子 慎司

当施設は、日立市に立地しており施設からは日立港、北には那須連山を一望することができます。

法人本体である特別養護老人ホームは、デイサービスが併設しており特別養護老人ホーム70床、ショートステイ10床に加え、デイサービス定員36名となっています。この他に包括支援センター、居宅介護支援事業所が併設しており、多賀町にも定員18名の地域密着型デイサービスを開所しており地域に根ざした福祉を目指しています。また、令和3年度にはサテライト型の小規模特養の開設を予定しており、栄養課は管理栄養士2名、栄養士1名と給食委

地域活動編

管理栄養士

峯山 涼子

私は高齢者福祉施設での給食管理と栄養管理の経験を活かして、現在はフリーで活動しています。主に保健センターで地域住民の健康づくりに協力しながら、居宅療養管理指導事業所たかぎ歯科に所属して介護保険適用の在宅訪問栄養指導を行っています。

【在宅訪問栄養指導について】

在宅介護を必要とする高齢者の食事指導に行っています。訪問時は、利用者のケアマネージャーを介して、主治医の指示を受けて行きます。介護保険適用の範囲では1回30分以上、月2回を上限に訪問します。

【他業種連携のために】 実際には栄養面よりも「

される学生・社会人の方のために大学院が設置されていません。

現在、管理栄養士課程におけるモデルコアカリキュラムが示され、管理栄養士の質向上を目的とし、特色ある授業内容が検討されています。実践力を有し、卒業後も探求心をもった卒業生を養成できるよう、教員一同努力しております。

【コロナウイルス感染症対策について】

通学範囲が広い大学生は、感染拡大のリスクが高いとされましたので、2020年度前期は大学方針として、遠隔授業を行いました。徐々に感染対策を施しながら学内での授業へと移行し、後期授業からは対策を施したうえで通常授業となりました。遠隔授業の利点と学内授業を融合させ、高度な授業が実施できるよう検討が進められています。

託業者従業員7名で構成しており給食の提供を行っています。

【非常時の対策について】

施設は東日本大震災以降原子力災害対策に力を注いできました。施設で最大1週間生活が継続できるよう備蓄食を用意していますが、COVID-19に対しても給食委託業者より非常時用のパンデミックメニューを提案してもらい給食業務が継続して運営できる体制を整えました。

今後、地域福祉や災害に関し栄養士を取り巻く環境は目まぐるしく変化しますが迅速に対応できる栄養課を目指して専門性を高めていきたいと思えます。

「どうやったら食べてもらえるのか」という介助者の悩みと不安に対応することが多いです。食材の工夫や食事介助の方法だけではなく、基礎疾患・身体機能・認知機能などの確認も必要となり、他職種との連携は欠かせません。特に歯科には、摂食・嚥下を含めた口腔機能について頼ることが多いです。その中で食への課題を見つけ、誰に繋ぐかを判断するためには、栄養面以外の知識も積極的に学ぶ必要があると感じています。

【活動を通して】 一番は「いつでも相談ができる」という家族の不安を取り除くことで感謝をされることに、貢献度の大きさを実感しています。今後も栄養士がいつでも頼りにできる存在であると知ってもらえるように活動を広げ、努めて邁進していきます。

令和2年度 研修会報告

文責 木村 善枝

第9回定時総会・研修会 10/1

ザ・ヒロサワ・シティ会館（県民文化センター）にて総会（令和元年度事業報告、年会費等の改正、令和2年度事業計画等の議事）が開催されました。

研修会は、群馬県済生会前橋病院栄養科係長宮崎純一先生から「2020年度診療報酬の改訂報告と今後の展望」について講演頂きました。次に、県立医療大学附属病院リハビリテーション科医師岸本浩先生による「栄養の力で健康寿命を伸ばそう！サルコペニア・フレイル・低栄養の予防」の講演では、新型コロナウイルス感染予防のため映像による講演となり、サルコペニア知識普及率調査結果やコロナ禍の高齢者の生活について等、有意義な情報が得られました。

管理栄養士・栄養士新任研修会 8/7

茨城県保健衛生会館にて、20名（オンライン研修含む）が受講しました。日本栄養士会下浦佳之専務理事の「専門職としての職業倫理について」の講演では、専門職としての重要性や役割について再確認しました。県立中央病院の感染管理認定看護師宮川尚美先生の「新型コロナウイルス感染症の施設対応について」は、医療現場での対応対策等が勉強になり、自分の施設で活かしたいという感想がありました。更に、伊藤副会長による「2020版食事摂取基準の活用」では、今回改訂のポイントや食事摂取基準使用に当たり、評価改善（PDCAサイクル）の重要性についてご講演頂きました。

生涯教育研修会 9/1

茨城県立歴史館にて25名（オンライン研修を含む）の参加があり、4名の先生方からご講演頂きました。茨城キリスト教大学教授井川聡子先生の「特定保健指導における栄養指導のスキルについて」は行動変容の段階毎の技法等について学びました。同大学教授石川祐一先生の「栄養士が知っておくべき検査値のよみ方・捉え方」は日々業務のスキルアップに繋がりました。又、茨城大学教授正保春彦先生の「指導に必要なカウンセリング・マインド」はカウンセリング・マインドを知る良い機会となり、つくば国際大学講師伏見孝子先生の「動機づけ・継続支援演習」は行動変容の様々な技法等を具体的にご指導頂き、理解度が高まりました。

オンライン研修会の導入について

茨城県栄養士会の研修会では、研修会当日に録画した映像を使ってオンライン研修会を導入いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大で研修会に参加ができない、業務の都合で研修会に参加が難しい方に視聴期間内であれば好きな時間に見られるのでおすすめです。今後の研修会でも、オンライン研修会を検討しておりますので、ぜひご活用ください。（文責 櫻井 ともみ）

茨城県栄養士会 LINE・HP をご活用ください

研修会のご案内や、事務局からのお知らせをホームページやLINEにて配信しております。

ぜひこの機会にご利用ください！

HP <http://www.ibarakiken-eiyoushikai.or.jp/>

LINE ①→「QRコード」で登録

②→LINEの検索で、

「茨城県栄養士会」を検索



令和2年度 ヘルシーメニューコンクール

ヘルシーメニューコンテストは若年期から食を通じた循環器疾患の予防推進の一環として飲食店や給食施設へのヘルシーメニュー普及啓発のための県から委託を受けて実施したコンテストです。

会員・学生・生徒・一般から主菜部門138件、副菜部門121件の応募がありました。レストランや給食施設で利用していただきたいと思います。

【審査基準】

●1品あたりの基準

	野菜量	食塩量
主菜部門	70g以上	1.2g以下
副菜部門	70g以上	0.5g以下



●調理時間：30分以内

●審査方法

1次審査（書類審査）

2次審査（調理・試食審査）



令和3年度も開催いたしますので、ぜひご参加ください。

（文責 櫻井 ともみ）

主菜部門



【最優秀賞】

彩野菜の豆腐ロール
（笹山 志保・茨城キリスト教大学）

「彩りが良く、ヘルシーな豆腐ロールだった」
「薄味で、キャベツの甘味が活かされていた」
「盛り付けの切り口も美しかった」

【優秀賞】

和・インゴルティー
～クミン香るジャガイモのピューレを添えて～
（相田 裕也・調理師）

「彩りが良く見た目が美しかった」
「プロの味で風味が良い」
「地産地消に力を入れた一品だった」



【優秀賞】

サバ缶と野菜のトマトソースグラタン
（海老沢 未歩・茨城キリスト教大学）

「誰でも簡単にできる魚料理だった」
「缶詰を利用したアイデアが良かった」
「青魚を気軽に摂れ、
体も喜ぶ料理だった」



【最優秀賞】

もちもち蓮根ボール
（馬場 未歩・つくば栄養医療調理製菓専門学校）

「蓮根を上手に利用していた」
「蓮根のもちもちとした食感が良かった」
「茨城の特産物を利用した良いレシピだった」

副菜部門



【優秀賞】

野菜たっぷり煮浸し
（清水 裕理・
つくば栄養医療調理製菓専門学校）

「沢山野菜が摂れるレシピだった」
「誰でも簡単に調理が出来る」
「シンプルで短時間での調理だった」

【優秀賞】

レンコンとエビのマヨだし和え
（山本 菜緒・つくば栄養医療調理製菓専門学校）

「マヨだしの風味が良く、材料との相性が良かった」
「歯触りが良かった」
「水菜とレンコンの相性が良く、
緑が彩りになっていた」



連盟活動状況

令和2年度は、新型コロナウイルス対応で多忙な1年でした。連盟においても例年の視察研修事業が中止になりました。しかし、政治や行政は確実に動いています。政治家は連盟組織等がある会の要望を重要施策と捉え事業や予算の確保に尽力します。現在の栄養士会は事務局長の人件費や補助金がなければ事務局が機能できなくなります。

事務局を支えているのが連盟組織であり、会と連盟は一体で進行することが重要です。

連盟を阻害するのではなく全員が連盟会員になって政治や行政を動かす力になる必要があります。

各種国家資格専門職は、各々社会的地位向上に政治活動を含めて展開しています。自分達の資格が他職種より少しでも高い評価を得て社会活動が出来るよう頑張っています。栄養士・管理栄養士職は私達会員が守っていくことです。今年は知事・衆議院議員選挙があります。

栄養士活動がスムーズに展開できるように連盟は政治家の応援をしたいと考えていますのでご協力をお願い致します。(文責 高橋 征子)

賛助会員活動一覧

◎ 商品展示 総会	8	社
◎ 広告バナー	8	社
◎ 広告掲載 総会資料	3	社
栄養茨城(FLASH)	3	社
◎ 広告チラシ	3	社

ゆたかな食文化のコーディネーターとして
さわやかな集団を目指します

業務用食材の総合商社
URUNO
ウルノ商事株式会社

<http://www.uruno.co.jp/>

水戸本店	茨城県水戸市元吉田町 1077-2	TEL 029-304-2555 FAX 029-304-2030
つくば支店	茨城県つくば市みどりの東 18-3	TEL 029-899-2006 FAX 029-899-2016
北関東支店	茨城県筑西市伊賀美 1937-1	TEL 0296-28-8000 FAX 0296-28-8022
東関東支店	千葉県富里市七栄 532-239	TEL 0476-91-2525 FAX 0476-92-2200
埼玉支店	埼玉県加須市北平野 770-1	TEL 0480-78-1321 FAX 0480-78-1322

入会のすすめ

新人栄養士が配属されるこれからの時期、栄養士会入会の勧誘にご理解とご協力をお願いいたします。未入会の同僚の方にも入会啓蒙をお願いいたします。

昨年は、コロナ禍という未曾有の事態に直面いたしました。本会では、オンラインによる研修に切り替え実施してまいりました。今年も本会のネット環境をさらに充実させ、新しい学びの環境を整えてまいります。日本栄養士会の「生涯教育制度」にのっとり単位認定も行っております。

栄養情報は、日々更新されています。専門職としての自覚を持ち、新知識をタイムリーにキャッチし、皆で学び、共に私たちの職域を守っていきましょう。

茨城県栄養士会は、日本栄養士連盟茨城県支部と手を携えて、栄養士・管理栄養士の地位向上に努めています。また、最新の栄養情報を提供できるよう、研修の機会を提供いたします。(文責 荒田 玲子)

新入職員紹介

茨城県栄養士会事務局に、新しく宮本未奈子(会計・つくば市事業・生涯教育・ヘルシーメニューなど)、島袋恵里(食生活診断・つくば市事業、栄養表示支援事業など)、櫻井ともみ(会員管理・各種研修会・栄養表示支援事業など)の3名が入職いたしました。どうぞよろしくお願い致します。



(文責 櫻井 ともみ)

編集後記

今年度は新型コロナウイルスの猛威にさらされ栄養士会総会が10月になり、研修会の計画も難しく、講師を県内の方をお願いしたり、研修会の中止や参加人数の制限、Web研修などなど未だかつてない状況で手探りで開催となりました。本誌の内容も予定通りとならず変わりました。

感染症に対応すべく免疫力upが叫ばれる中、高齢者栄養や食育など現場は多面的であります。栄養士として県民の皆様に役立てるよう共に自己研鑽していきましょう。(文責 関 清美)